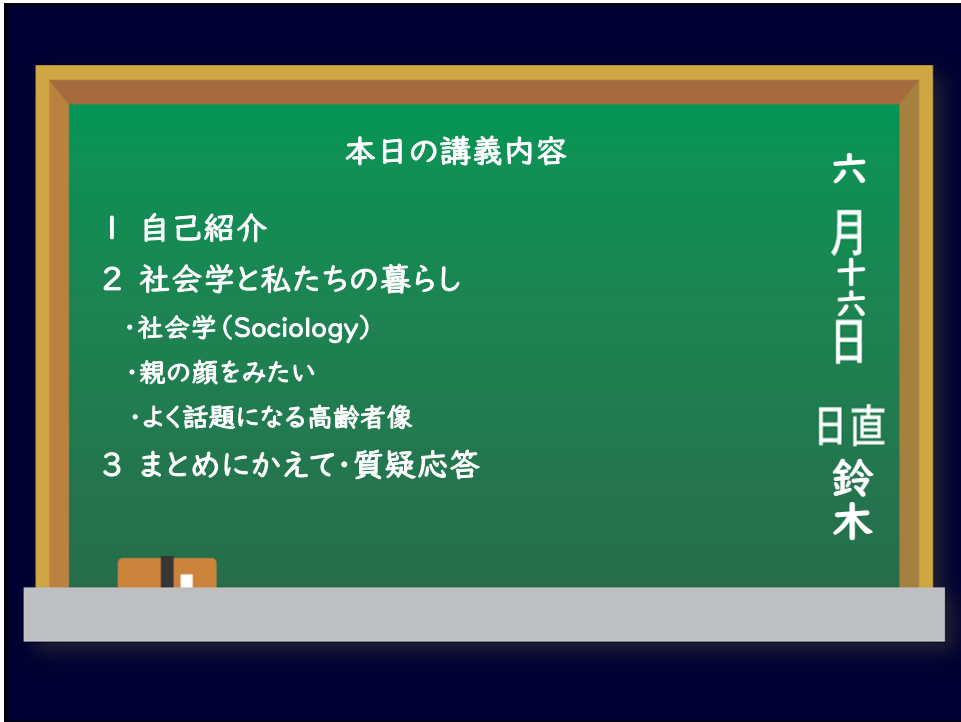




1



2

自己紹介 (self-introduction)

本間照雄 蟹座 O型 1950(昭和25)年 寅年生まれ
Teruo HOMMA, Cancer, born in 1950 (Showa 25)

3

3

東日本大震災 Great East Japan Earthquake

2011(平成23)年3月11日(金) 午後2時46分 M9
March 11, 2011 (Friday) 2:46 p.m. M9

4

4



5



6



7



8



Disaster meals

9



Moving into the tent

10



11



12



地域の課題Ⅰ（前期）必修

13



2020-02-21 富谷市長報告（市民協働課・子育て支援課・Naroitaマルシェ同席）

14



早朝ラジオ体操(長命ヶ丘南緑地公園)

15



高齢者による『おせっかいCafé』

16



体操終了後に珈琲を飲みながら懇談

17



参加者最高齢(89歳)の方のお誕生日

18



町内会主催『ふれあいサロン』（女子会）15人⇒50人参加

19



晩酌の会メンバーが「おかわり」を勧める

20



21





大人のラジオ体操（外に出る機会が少なくなり運動不足を補う為に実施）

22



23

『市井の人』としての現在

 <p> <small>仙台市泉西一地区民生委員児童委員協議会 (加茂・長命・五・南中山・北中山・西中山地区)</small> 民生委員 児童委員 本間 照雄 <small>〒981-3212 仙台市泉区長命ヶ丘4丁目19-4 連絡先 090-2603-6183</small> </p>	 <p> <small>地域福祉研究所 (Institute for Community Welfare) K: I wish to communicate with you.</small> <small>博士(文学) (東北大学) 社会福祉士 (第703514号)</small> 市井の人 本間 照雄 <small>HONMA Teruo</small> <small>981-3212 仙台市泉区長命ヶ丘4丁目19番4号 URL https://welfare0622.org/ E-mail: welfare0622@yahoc.co.jp</small> </p>
---	--

二枚の名刺を持って地域福祉の推進に励む

24



25



26

社会学 (Sociology)

ほんの少しだけ、社会学を概観してみます

27

社会学とは、どのようなことを対象にして研究しているのか

- ◇人びとの関わり合いから生まれる『社会』の仕組みや変化、問題を、観察や調査にもとづいて体系的に研究する学問です。
- ◇家族や学校、企業、国家、グローバル社会まで、さまざまなレベルの集団や制度を対象にします。

そもそも『社会』とは？



社会とは、異なる人々たちが、限られた空間の中で、共に暮らしあって行くことを可能にする『知恵あるいは仕掛け』の総体。

28

28

「社会」を成立させる最少人数

- ◇一人：1人だけでは「他者との関係」「役割分担」「相互作用」が成り立たないので、社会学では社会とは呼ばない。
- ◇二人：一応、社会とは言えるが、相互作用はあるものの、権力関係や「多数派」（例えば気の合う仲間）等は生まれにくい。
- ◇三人以上：権力関係や同調など「社会らしい現象」が出てくるのは3人以上と考えられている。



『社会』とは、分かりやすく言えば、

- ①複数の人がいて
- ②お互いにやりとりやコミュニケーションがあり
- ③その関係がある程度続き
- ④何らかの役割分担やルール（規範）ができている

29

29

「社会」は目には見えないけど、確かに存在する



『社会』は、

- ◇人々の振る舞いの中にある。
- ◇人と人の中にある。
- ◇人と環境の間にある（本問独自の考え方です）。
- ◇人々の集まりの中にある。
- ◇人々の心の中にある。
- ◇人々の記憶の中にある。

この為、『社会』を知るためには、時には「鳥の目」となって大きな視野から俯瞰（ふかん）してみる。そして、時には、虫の目となって、対象に接近し、あるいは間近で眺める。更には、心の目になって、共感や違和感を感じる。

＝ このように、複眼的に対象と関わって行くことが求められます ＝

30

30

なぜ、『社会学』という学問が必要なのか？

社会学という『知の翼』の力を借りることによって、大きく変化しつつある社会の姿を、その動き・変化に着眼し観察して理解を深め、より良い社会を築いて行く為に、必要な切り口（メス）を持つことが大切である。



私が、どのように感じ、どのように受け止めるかが大切

『私=自分』を通過しない社会は、リアル（現実味）がない、空理空論（現実性や実行可能性がなく、机上の理論にすぎない考えや議論）に終始してしまう。

31

31

親の顔がみたい

私たちは、社会学の用語をこの様な言葉を用いて生活の中で使っています

32

さて、ここから本日の本題『親の顔が見たい』に入ります。

鍵となる専門用語 (Technical term) は『**社会化**』 (Socialization)

- ◇『親の顔が見たい』という言い方は、額面どおり当事者の方の親御さんの顔を見たいという意味では使われていません。
- ◇今、目にしている行為を非難する、否定する場合や評価する言葉としてもちいられます。
- ◇では、なぜ親の顔が見たいと言うのでしょうか。
- ◇ここに社会学が登場します。『**社会化**』です。

33

33

私たちは、ものごとの考え方や振る舞いを、どのようにして獲得 (学習) しているのでしょうか。

- ・近所の子どもは、全て同じような行動 (行為) をしているのでしょうか。
- ・皆さんの子どもや孫たちは、近所の子どもたちと同じような言葉遣いや振る舞いをしていますか。
- ・息子・娘が結婚しようと相談に来たとき、相手になる本人だけではなく、その親と会ってから判断したい気持ちになったことはありませんか。
- ・大人になって、地域社会の一員として活動したり、様々な職業に就くようになりますが、〇〇さんは理屈ばかりで融通が効かぬ「公務員らしいな〜」とか、堅いことばかり言って「やっぱり警察官らしい」とか、「あの人は元教員だから理想論ばかりで潰しが効かない」等々と、感じたり言ったりすることはありますか。

34

34

私たち一人ひとりには、固有の性格・考え方（思考パターン）があります



◇ヒトとして生まれたからには、元々持っている能力。

◇親の遺伝により受け継がれている。

◇知らないうちに身につけている。

上記のように、私たちの考え方や振る舞いは
『**生得的**』に、
身につけているものなのでしょうか。

生得的= 性質や能力などが「生まれつき備わっているさま」先天的・天性ともいう。

35

35

社会学では、

個々人が『ヒト』から『人』へと成長し、更にはその職場や地域社会に
あった振る舞い、求められる振る舞いをするのは、その強弱はあつても、
現存すると考えます。

子どもや大人は、その発達段階ごとに、社会の価値観・規範・役割・
行動様式を学び、その社会の一員としてふさわしい行動を身につけて
行きます。

すなわち、私たちの考え方や振る舞いは、遺伝子により先天的に獲得
されたものではなく、**学習により後天的に獲得**されるものです。



これを **社会化 (Socialization)** と、いいます。

36

36

社会化 (Socialization)

社会化 (socialization)とは、「ひとが自分の所属する社会や集団、またはこれから所属しようとしている社会や集団に共有されている流儀・作法を学習し、自分のものにしてゆくプロセス」をいいます。

社会化 (学習過程)は、大きく二つに分けることができます。

『第一次社会化』と『第二次社会化』

37

37

第一次社会化

- ・第一次社会化は、生まれて成長するなかにあつての学習過程です。
- ・社会規範、生活習慣、言語など、その社会全体に共通で、そして最も基本的なことから学習することをいいます。
- ・社会化の対象は子ども、社会化の担い手は、まずは家庭、そして近隣社会、保育園や幼稚園、学校と成長に合わせてだいに広がっていきます。
- ・第一次社会化を通じて、一個の動物として生まれた「ヒト」は、この過程を通して「人間」になり、男や女 (最近はこうした区別の言い方も避ける傾向がありますが) になっていきます。

いわゆる「しつけ」は、第一次社会化の最も重要な局面です

しつけは (三つ子の魂百まで)、一義的に親が行います。この為、当の本人だけではなく、親御さんを見ないと、どのような育て方をされたのかが分からないので、判断出来ないと考えるのは無理のないことです。



ここに、『親の顔をみたい』が出て来ます。

38

38

第二次社会化

- ・第二次社会化は、ある集団に固有の行動パターンや振る舞いがあります。
- ・こうした集団に共通な規範、価値観、行動パターンを学習する過程です。
- ・貴族社会、会社、暴力団、宗教団体、政党、軍隊等々、それぞれに固有の作法や気風があります。
- ・新参者は、そうした作法や気風をしっかりと身につけることで、はじめて一人前のメンバーとして認められるのです。



〇〇さんは、融通が効かぬ「公務員らしいな～」
 堅いことばかり言って「やっぱり警察官らしい」
 元教員だから理想論ばかりで潰しが効かない」等々

地域の集まりや会議の中での発言を聞いて、会議の帰り道に
 『あの人は昔、どんな仕事をしていたんだろうね』等と、話したことはありませんか？
 このことは、二次社会化のことを聞いていることに等しいのです。

39

社会学と社会化（社会化過程）

◇この様に社会化は、人間を社会や集団の一員として形成し、社会や集団のために新しいメンバーを補給し、社会や集団に秩序をもたらす決定的に重要なプロセスなのです。

◇私たちは、特段「社会学」等と言わなくても、生活の中で意識するしないに関わらず、あたりまえのように振る舞っている中に、社会学が入り込んでいます。

◇別の言い方をすれば、「**私たちは、個人と社会との関わりか方**」の中で暮らしているのです。

40

40

地域社会と社会化

- ・地域社会の持つ雰囲気も「社会化」と関係するようになっています。
- ・その地域の構成員が、如何なる地域を目指して努力を重ねているかによって、その地域の雰囲気や振る舞いが変わってきます。
- ・四国八十八ヶ寺歩きお遍路をして、私はそれを強く実感しました。
- ・地域社会は、私たち一人ひとりの振る舞いの現れだと確信したのです。
- ・地域社会の持つ雰囲気や近隣関係は、二次社会化の構成員である私たち一人一人が関わり醸し出しているのだと言うことを知っておく必要があります。



社会学の視点に立つと、私たち一人一人の振る舞いでも、
地域社会は変えることが出来るのです。
ここに、皆さんの出番があります。

41

41

地域社会が変化していく構図



皆さんの振るまい・選択が地域社会（行政）を
変えます（二次社会化過程）。

即ち、**地域社会は、一人一人が関わり醸し出した結果**なのです。

42

42

よく話題になる高齢者像

理由を知ると『変な人』扱いはしなくなります

43

こんなことを感じたことはありませんか

- ◇高齢者に『頑固になる』人をよく見かける。
- ◇高齢者に、瞬間湯沸かし器のように『切れる』人を見かける。
- ◇歳を重ねたら『涙もろく』なってきた。
- ◇歳を重ねるようになると、時間の進み具合がとても早く感じる。



こうしたことは、『社会学』で扱う分野ではありません。

44

◇高齢者に『頑固になる』人をよく見かける。

◇高齢者に、瞬間湯沸かし器のように『切れる』人を見かける。

◇歳を重ねたら『涙もろく』なってきた。

⇒ 脳の前頭前野機能が加齢により少々弱くなっている。

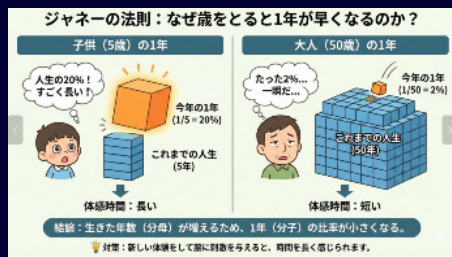
前頭前野は、行動の抑制・思考・コミュニケーション・意思決定・情動の制御・記憶のコントロール・意識、注意の集中・注意の分散等を担っています(大脳生理学の分野)。

◇歳を重ねるようになると、時間の進み具合がとても早く感じる。

⇒ 実はこれは気のせいではなく、多くの人に共通する現象で、「ジャンネーの法則」と呼ばれています。

年齢を重ねるほど、時間が早く過ぎるように感じるという考え方で(心理学の分野です)。

たとえば、5歳の1年は人生の5分の1ですが、50歳の1年は50分の1です。このように、人生に占める割合が小さくなり、同じ1年でも短く感じやすくなります。



45

まとめにかえて

豊かに生きるために(役割のある人生) = 自己実現

46

46

た だ

河 野 進

もっとも大切なものは

みな ただ

太陽の光

野や山の緑

雨や川の水

朝夕のあいさつ

神への祈り

そして 母の愛

47

お互いさまの社会（地域共生社会）



もっとも大切なものにあふれている社会

- ・お金で買うことができない社会
- ・お金で担保（保証）することが出来ない社会

（かけがえのない社会）

48

私は、

「お互い様」の意識や「結い」の習慣等は、

貴重な東北の生活文化であると共に

我々社会の「強み」

なのではないかと思っています。

↓

これを生かした地域づくりをしたいと考えています。

49

49

活動を支える三つのシステム


- ◆ハード・ウェア (Hard ware) 道具 (建物・施設設備)
- ◆ソフト・ウェア (Soft ware) 道具を動かす仕組みや仕掛け
- ◆ハート・ウェア (Heart ware) どのような姿勢で関わるのか=思い

システムを動かす ↓ 能力 (エンジン) は!

社会的想像力

50

50



中村哲の پاکستانでの支援はとても参考になる。

84年にパキスタンのペシャワールに赴任。91年よりアフガニスタン東部山岳地帯に診療所を開設し、98年に基地病院PMSを設立。2000年からは水源確保のための井戸掘削とカレズ(地下水路)復旧を行う。03年より09年にかけて灌漑用水路を建設。

51

51

「私は青年が好きだ」 高村光太郎

私は青年が好きだ。	私は青年が好きだ。
私の好きな青年は麦のように	私の好きな青年は旭に輝く山のように
踏まれるほど根を張って起きあがる。	晴れやかできれいで天につづく。
私の好きな青年は玉菜のように	私の好きな青年は燃え上がる焚火のように
霜にあうほど生き生きとしてまろく育つ。	熱烈で新鮮であたりを照らす。
私は青年が好きだ。	私は青年が好きだ。
私の好きな青年は木曾の檜の柁目のように	私の好きな青年は真正面から人を見て
まっすぐでやわらかで香りがいい。	まともにこの世の真理をまもる。
私の好きな青年は鋼のバネのように	私の好きな青年はみずみずしい愛情で
しなやかでつよく弾みがいい。	ひとりでの人生をたのしくさせる。

52



53

「ハチドリのはたとしづく」

森が燃えていました

The forest was on fire.

森の生き物たちはわれ先にと
にげていきました

All of the animals, insects and birds in the forest rushed to escape.

でもクリキンディという名のハチドリだけは
いたりきたり

But there was one little hummingbird named Kurikindi, or Golden Bird, who stayed behind.

くちばしで水のはたとしづくを一滴ずつ運んでは
火の上に落としていきます

This little bird went back and forth between water and fire, dropping a single drop of water from its beak onto the fire below.

動物たちがそれを見て
「そんなことしていったい何になるんだ」
といて笑います

When the animals saw this, they began to laugh at Kurikindi.
"Why are you doing that?" they asked.

クリキンディはこう答えました

And Kurikindi replied,

「私は、私にできることをしているだけ」

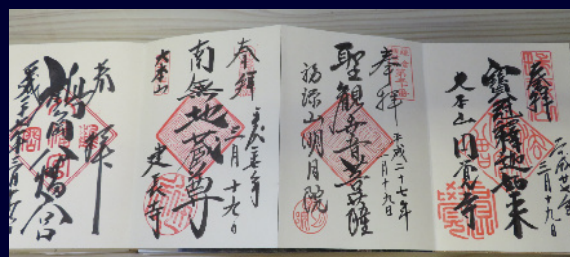
"I am only doing what I can do"

出典 辻 信一監修「ハチドリのはたとしづく」光文社 2005.11
(南アメリカ(エクアドル)の先住民に伝わるハチドリのお話)



54

皆さんの今日が、
みずみずしい愛情でひとりでの人生をたのしくさせる
一生勉強を続ける、青年のように
自分の出来ることを見つけ、一步を踏み出す
このような一日になることを願っています。



55

55

国際信号旗 K

本船は貴船との交信を求める



地域福祉研究所

質問は以下にお寄せ下さい

E-mail : welfare0622@yahoo.co.jp

HP・Blog: <https://welfare0622.org/>

ご静聴有り難うございました。

56

56